

161 人を呪わば穴二つ

他人に害を与えようとすれば、やがて自分もその報いをうけるといふこと。

162 人を見たら泥棒と思え

他人を簡単に信用してはいけない。まずは用心しろということ。

163 火のない所に煙は立たぬ

噂をされるからには、必ず何かの原因、事実があるだろうということ。

164 百害あつて一利なし

害になることばかりあつて、利益になるような良いことが何もないこと。

165 ひょうたんから駒が出る

思いがけないところから意外なものが出る。冗談が現実となる。

166 貧すれば鈍する

貧しくなると頭も鈍くなる。

167 貧乏暇なし

貧乏な人は生活に追われ、暇がないということ。

168 夫婦喧嘩は犬も食わない

夫婦喧嘩の原因は些細なことであつたり、一時的なものだから、他人が心配する必要はないということ。

169 笛吹けども踊らず

準備を整えて、さかんに誘っているのに、誰もそれに応じようとしないことのとえ。

170 豚に真珠

価値のわからない人に貴重な品を与えても、何の役にも立たないことのとえ。

171 下手な鉄砲も数撃ちや当たる

何度もあれこれ試してみれば、偶然うまくいくこともあるということ。

172 下手の考え休むに似たり

良い考えが浮かばないのに長い時間考えるのは、時間の無駄だということ。

173 下手の横好き

下手なことに、そのことをするのが好きで熱中すること。

174 蛇ににらまれた蛙

強敵や苦手なものなどの前で、恐ろしさから身がすくみ、動けない様子。

175 ペンは剣よりも強し

優れた文章は世の人々を動かし、武力よりも強い力を持つということ。

176 仏作つて魂入れず

苦勞して完成させた物事に、一番大事などころが抜けていて、役に立たないこと。

177 仏の顔も三度

どんなに温厚な人でも、何回もひどいことをされると、最後には怒りだすということ。

178 骨折り損のくたびれもうけ

苦勞したのに成果が出ず、徒勞に終わってしまうこと。

179 まかぬ種は生えぬ

結果があるからには必ず原因がある。努力なくしてよい結果は出ないということ。

180 負けるが勝ち

争わず、あえて勝ちを譲ることで、一時的には負けていても、結果的に有利になり、勝ちにつながるということ。